

16. 第6－7回高木レクチャーについて

高木貞治先生の名を冠した講演会「高木レクチャー」は、世界から卓越した数学者を日本に招き、専門分野を越えた数学者や若手研究者・大学院生を主な対象とし、創造のインスピレーションを引き起こすような気概に満ちた研究総説講演を行っていただき、日本発の新たな数学の創造に寄与することを目的としています。高木レクチャーをもとにした研究総説は、査読を経て *Japanese Journal of Mathematics* (JJM) に掲載されることになっています。

この趣旨に基づき「高木レクチャー」の創設が2006年3月26日(日)、中央大学で開かれた日本数学会評議員会で承認され、2006年11月に第1回高木レクチャーが京都大学数理解析研究所で開催されて以来、これまでに6回の高木レクチャーが開催されました。

この数学通信では第6回の報告と、第7回の予定をお知らせいたします。

第6回高木レクチャー(2009年6月6日(土)－7日(日)、北海道大学大学院理学研究院数学部門)において、M. Khovanov(コロンビア大学)：「Categorifications from planar diagrammatics(平面図表によるカテゴリフィケーション)」、D. McDuff(コロンビア大学バーナード校)：「Symplectic embeddings and continued fractions(シンプレクティック埋め込みと連分数)」の講演が行われました。両日は、情報システム運用委員会の企画・実行のもと、インターネットを利用して国内6ヶ所の大学へ講演を同時中継する実験が行われました。詳しくは、今号掲載の麻生和彦氏(情報システム運用委員会委員)の記事「第6回高木レクチャーの多地点中継実験の報告」をご参照ください。

当日には、予稿のブックレットが配布され、その最終版の研究総説は査読後、JJMに掲載される予定です。講演のビデオは東大数理 Video Archives プロジェクトチームにより撮影編集が行われ、web上で一般公開しております(下記の高木レクチャーホームページをご覧ください)。

第7回高木レクチャー

日時：2009年11月21日(土)
～23日(祝・月)

場所：東京大学大学院数理科学研究科
大講義室

講演者：

Michael Harris (パリ第7大学)：

「Arithmetic applications of the Langlands program (ラングランズ・プログラムの数論的応用)」、

Michael Hopkins (ハーバード大学)：

「The Kervaire invariant problem (ケルヴェア不変量問題)」、

Uwe Jannsen (レーゲンスブルク大学)：

「Weights in arithmetic geometry (数論幾何における重さの概念)」、

Chandrashekar Khare (カリフォルニア大学ロサンゼルス校)：

「Serre's conjecture and its consequences (セールの予想とその帰結)」、

James McKernan (マサチューセッツ工科大学)：

「Mori dream spaces (森ドリーム空間)」

組織委員：小野薫，河東泰之，小林俊行，
斎藤毅，中島啓

主催：日本数学会，
東京大学大学院数理科学研究科

協力：JJM，東大数理 GCOE

第7回高木レクチャーは、高木貞治50年祭記念事業の一環として行われます。

当日は、各講義の概要をブックレットにて配布する予定です。

高木レクチャーのHP

[http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/
takagi_jp/](http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/takagi_jp/)

で最新情報を掲載いたします。

なお、数学会会員は JJM の各冊子を会員割引価格 7500 円 (+税 375 円) で日本数学会事務局より購入することも可能です。

(小林俊行 記)